とうきょう　すくわく

プログラム　活動報告書

園名	もりのおがわ保育園
期間	全６回（１０月２回・１１月2回・１２月2回・２月２回・３月１回）
実践者	岡山理絵子
対象年齢人数	０歳児～3 歳・５歳児

テーマ感触

テーマを設定する

・砂の感触を楽しみながら集中して遊ぶ

環境をデザインする

〇準備物

作業台・砂場の玩具

探求活動を実践する

〇活動内容

・砂場では座り込んでしまいがちなので動きやすい様に作業台を用意する

・砂を使って何が出来るか一緒に考えてみる

◇子どもの様子

公園のベンチなど丁度良い高さの台を見つけると遊びやすい様で０歳児クラスをはじめとする乳児クラスの子たちは安定して探索活動を楽しむ姿が見られる．保育園にも作業台を用意すると高さが丁度良く砂遊びを通してそれぞれのペースで遊び込む姿が見られた。砂の入った袋を持ち歩いていたところ「何をするの？」と年長児に聞かれたので「サラサラの砂にしたいんだ」と伝えた所どうしたらサラサラになるか触りながら考える姿が見られた。

振り返り・気づき

振り返り

・一番身近で関わりやすい砂遊びをテーマの子どもの動きを確認した。遊びの集中を含め作業台になる様な物があると集中力も高まり、動きが出て良かった。幼児クラスの子どもたちとどのような形で砂遊びを進めようか決めかねていたが、子どもからの問いから始まり、自分たちで考える姿を見ると、大人側が準備し過ぎない所も大事だと気が付いた。翌日も「サラサラになった？」と聞いてくる姿も見られた。道具を準備して一緒にサラサラの砂を作る活動に繋げていき、変化や感触を楽しんでいきたい

反省・次回への課題

幼児クラスにおいてはどのように砂を使って遊んでいけるか決めかねていたが、子どもからの言葉を聴いて活動に繋げていけそうな流れがイメージできた。先回りせず子ども達がどのような変化を楽しんでいきたいと考えるかを見つけていきたい